

東京文化会館音楽資料室だより vol.24

今回の音楽資料室だよりでは、現代音楽のひとつ「電子音楽」について、そのはじまりに焦点を当てて音楽資料室の資料を紹介いたします。

電子音楽のはじまり

「電子音楽」は、電子楽器や録音テープなどを使用した現代音楽の一種として、20世紀中ごろに始まりました。

そのはじまりは「ミュージック・コンクレート(具体音楽)」と呼ばれる、1940年代後半にフランスでみられた、レコードや録音テープを用いて録音された音に機械的な変調を加えた音楽ともいわれています。作品の一つとして、ミュージック・コンクレート作品の創始者とも呼ばれるピエール・シェフェールと、ピエール・アンリの共作による『ひとりの男のための交響曲』が知られています。

その後、電氣的に生成された音による「電子音楽」が、ケルンにある西ドイツ放送(WDR)の電子音楽スタジオで生まれ、カールハインツ・シュトックハウゼンらをはじめとする電子音楽作品の作曲家が活躍するようになりました。

こちらでは音楽資料室の資料の中から、シュトックハウゼンによる音源資料や、「電子音楽」について詳しく読める図書をいくつか紹介いたします。



【音源紹介 シュトックハウゼン】

- ① [LPレコード] 請求記号: **E81.5**
『Kontakte(コンタクテ)』を収録。
- ② [LPレコード] 請求記号: **V11.7**
『少年の歌』、『接触』の2曲を収録。
- ③ [LPレコード] 請求記号: **V77.1**
『4つのオーケストラと4つの合唱のためのカレ[カレ]』ほか数曲抜粋にて収録。
- ④ [CD] 請求記号: **3T4.78**
『3群のオーケストラのためのグルッペン：作品第6番』を収録。



【図書紹介 電子音楽に触れてみる】

- ① [図書] 川崎弘二編著『日本の電子音楽』
請求記号: **2.79-K179-09**
- ② [図書] 川崎弘二編著『黛敏郎の電子音楽』
請求記号: **2.79-K179-11**
- ③ [図書] 甘利俊一[ほか]著
『ムーグ・ノイマン・バッハ』
請求記号: **2.79-H794**



図書のおすすめはこちらにも掲載中
音楽資料室HP--資料紹介--

【もっと学べる 現代の音楽】



① [CD] NHK「現代の音楽」アーカイブシリーズ

NHKラジオ番組「現代の音楽」で過去放送された番組から編集された音源となっており、戦後を代表する邦人作曲家に焦点をあてたCDシリーズ。

請求記号: **3T3.25**ほか

キーワード「現代の音楽 アーカイブシリーズ」でOPAC検索

② [CD] commons:schola(コモンズ・スコラ) [Ryuichi Sakamoto selections]シリーズ

「vol.13 電子音楽」 請求記号: **3W3.54**

「vol.15 20世紀の音楽II :

1945年から現在まで」 請求記号: **3W4.03**

坂本龍一の監修によるユニークな音楽全集。
中でも「vol.13 電子音楽」、「vol.15 20世紀の音楽II」は、現代作品が幅広く紹介されています。



【電子楽器のはじまり】

世界に広く認識された最初の電子楽器は、1922年に無線技術を応用して作られた「テルミン」という楽器です。現在でも、テルミン奏者による演奏会が各地で行われています。

それ以前には「テルハーモニウム」という楽器の発明もありましたが、巨大かつ重さ200トンともいわれており、あまり普及には至らなかったようです。

フランスの作曲家、オリヴィエ・メシアンによる『トゥーランガリラ交響曲』で使用されることでも有名な電子楽器「オンド・マルトノ」は、1928年に発明されました。

また、1934年には、現在でもジャズオルガンとして人気の高い「ハモンド・オルガン」が開発されるなど、多くの電子楽器が20世紀に開発され、その後も大きく発展を遂げていきます。

音楽資料室で利用できる オンライン音源配信サービスのご案内

音楽資料室内の専用端末(PC)で 音楽を聴くことができる サービスです。

利用したい方は カウンター にお申し出ください。

※1回1時間程度でお願いいたします。

お待ちの方がいない場合は1時間単位で延長できます。

★ナクソス・ミュージック・ライブラリー

クラシックを中心に、200万曲以上を再生できる音楽データベースです。

クラシック音楽を中心に現代音楽、ジャズ、民族音楽など世界各国の音楽レーベルを幅広く収録しています。

「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」最新データ (2024年10月25日時点)

・配信アルバム数: 173,179

・配信トラック数: 2,664,479

・参加レーベル数: 1,065

・収録作曲家数: 50,963人

--「月刊クラシック通信」第65号 掲載情報より--

★国立国会図書館歴史的音源(れきおん)

1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等、約5万点のデジタル化された音源を聴くことができます。

